



奈良県感染症情報

令和2年 第43週(10月19日～10月25日)
 奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)
<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 感染症に備える

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.24	(1.53)	➡	↗	↓	↘
2	ヘルパンギーナ	0.88	(0.97)	↗	↓	↑	↑↑
3	突発性発しん	0.44	(0.47)	➡	↑	↘	➡
4	A群溶連菌咽頭炎	0.38	(0.44)	➡	↗	↘	↑↑
5	水痘	0.29	(0.26)	↗	↑	➡	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)
 増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

ヘルパンギーナの第43週(10月19日～25日)の報告数は、中和保健所管内東部地域で第42週に比べて特に増加しています。また、県内の定点医療機関からの報告数のうち1～2歳で半分以上を占めています。ここ数週間のヘルパンギーナの定点あたり報告数を見ると、近府県が横ばいなのに対し、奈良県は増加傾向にあります。

腸管出血性大腸菌感染症の報告が続いています。代表的な原因菌であるO157は感染力が強く、わずかな菌数の摂取で発症します。特に子どもや高齢者などは重症化しやすく、死に至ることもあります。菌に汚染された可能性のある飲食物の摂取を避け、また、人から人への感染を防ぐために調理前・食事前・トイレ後・おむつ交換後などの手洗いを徹底しましょう。家庭内感染予防には、お風呂に入る順番等も重要です。下痢などの症状がある時はシャワーだけにし、回復後1週間は入浴順序を最後にしましょう。

感染症に備える

感染症は①病原体(感染源)②感染経路③感染する可能性のある人の3つの要因が揃うことで感染します。特に「感染経路の遮断」が感染拡大防止のために重要な対策となります。

空気感染 ウイルスや細菌(病原体)を含み空気中に浮遊する小さな粒子を吸い込むことによる感染経路

例) 麻疹、結核、水痘(水ぼうそう) 等

【対策】 特殊な換気や、フィルターによる空気の清浄 等

飛沫感染 咳・くしゃみ・会話などで生じた病原体を含む大きな粒子が飛散し、他の人の鼻や口の粘膜あるいは結膜へ接触することによる感染経路

例) 百日咳、インフルエンザ、風疹、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 等

【対策】 マスクの着用、咳エチケット 等

接触感染 皮膚や粘膜、傷口の直接的な接触、あるいは咳やくしゃみを受けた手で触った物などを介して、間接的に接触することによる感染経路

例) 咽頭結膜熱(プール熱)、インフルエンザ 等

【対策】 手洗い、手指消毒、 等

経口感染(糞口感染) 病原体に汚染された食べ物を生または十分に加熱しないで食べた場合や、不十分な手洗い等により糞便中の病原体が手指を介して経口摂取することによる感染経路

例) ノロウイルス感染症、ロタウイルス感染症 等

【対策】 食品の十分な加熱、調理時・食事前・排泄物を処理した後の手洗い 等



※ワクチンがある感染症は、ワクチンを接種して感染や重症化を防ぎましょう。

例) インフルエンザ、肺炎球菌、麻疹、風疹、ロタウイルス感染症 等

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 2 年 第 43 週 10 月 19 日 ~ 25 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	2	4	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	9	9	7	6	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	1 (0.03)			1 (0.14)				
A群溶連菌咽頭炎	13 (0.38)	3 (0.33)	5 (0.56)	1 (0.14)	3 (0.50)	1 (1.00)		
感染性胃腸炎	42 (1.24)	11 (1.22)	18 (2.00)	1 (0.14)	10 (1.67)	1 (1.00)	1 (0.50)	
水痘	10 (0.29)	5 (0.56)	3 (0.33)	2 (0.29)				
手足口病								
伝染性紅斑								
突発性発しん	15 (0.44)	6 (0.67)	3 (0.33)	5 (0.71)	1 (0.17)			
ヘルパンギーナ	30 (0.88)	1 (0.11)	1 (0.11)	17 (2.43)	8 (1.33)		3 (1.50)	
流行性耳下腺炎								
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	0	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	1 (0.10)			1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	0	1	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核3件(奈良市2、中和1)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症3件(郡山3)
4類感染症	レジオネラ症3件(郡山1、中和2)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(郡山1)

❖ 第43週のトピックス ❖

◆IASR HIV/AIDS 2019年 (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>

◆季節の行事に関する感染防止策の徹底について

<http://www.pref.nara.jp/55409.htm#kisetunogyouji>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数 ÷ 定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3009
	女																						
RSウイルス感染症	男																						105
	女																						69
咽頭結膜熱	男						1																1
	女																						127
A群溶連菌咽頭炎	男				1	1		1		1	1	1	2										3
	女																						680
感染性胃腸炎	男		2	1	2	3	4	3	1	1	1	1	2	1	1								22
	女		2	3	1	1	1	2		3	1		2	2	2								20
水痘	男						1	1					2	1									5
	女				1	1		2					1										5
手足口病	男																						85
	女																						71
伝染性紅斑	男																						158
	女																						119
突発性発しん	男		3	6	1			1															11
	女		1	2	1																		4
ヘルパンギーナ	男		1	6	8	1							1										17
	女		1	2	2	3	2	1	1				1										13
流行性耳下腺炎	男																						15
	女																						15
急性出血性結膜炎	男																						1
	女																						1
流行性角結膜炎	男																						36
	女																	1					1
細菌性髄膜炎	男																						6
	女																						3
無菌性髄膜炎	男																						2
	女																						15
マイコプラズマ肺炎	男																						14
	女																						1
クラミジア肺炎	男																						2
	女																						7

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

